

## 弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

P L A N	No. 55	一 6 事務事業名	中学校給食事業	細事務事業名	中学校給食事業	公的関与	1	シート作成日	平成30年6月15日					
	課名	学校教育		グループ	学校教育	担当課長名	渡邊一弘	シート作成者名	加藤正寛					
	事業区分	◎ 1 ソフト事業	○ 3 整備事業	○ 5 施設の管理運営		事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託						
		○ 2 施設の建設	○ 4 経常的事務事業		□ 2 一部委託		□ 4 補助等							
	総合計画	政策目標	4人が輝き文化が薫るやとみ			実施計画	事業の開始・終了							
		施策項目	学校教育の充実			◎ 1 該当	年度	~ 平成 年度	期間設定なし					
		主要施策	生きる力の育成を重視した教育活動の推進			○ 2 非該当	根拠法令等	学校給食法						
	個別計画	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)										
	事業の目的	中学校生徒及び教職員への給食		民間等の専門的な知識・技術の活用や業務効率を向上させるなど、より充実した学校給食を提供し、また、給食提供の経費の効率化を図ります。										
	事業の内容	給食調理業務の民間への委託 衛生管理面での立ち入り検査を保健所年間1回、衛生管理チェックリストにより日常点検を行っています。 平成30年6月1日現在、弥富中学校602人、弥富北中学校465人、十四山中学校153人の生徒を対象に給食事業を実施しています。												
成 果 指 標      D O	①	指標名	学校教育の充実に関する市民の満足度				②	指標名						
		指標設定の考え方	平成24年度(23.2%)の30%増を目指す。			単位		%	指標設定の考え方				単位	
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度		平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度				
		実績	—	実績	31.4	目標		※	目標	30	実績	実績	目標	目標
		目標	26	目標	28	目標			目標		目標	※	目標	
		予算費目	会計	一般会計				款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	
			平成 28 年度決算額			平成 29 年度決算額			平成 30 年度予算額					
直 接 事 業 費	国・県支出金		千円			千円			千円					
	地方債		千円			千円			千円					
	その他特定財源		千円			千円			千円					
	一般財源		33,004 千円			35,316 千円			37,947 千円					
	計(A)		33,004 千円			35,316 千円			37,947 千円					
人 件 費 (B)	正職員工数・経費		0.125 人			0.125 人			0.125 人					
	臨時職員工数・経費		863 千円			863 千円			863 千円					
	全体事業費(A+B)		33,867 千円			36,179 千円			38,810 千円					

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

C H E C K	チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	学校給食を民間委託し、経費削減に努めています。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ		
	有効性	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ		
	達成度	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ		
	効率性	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ		
	評価点	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	3中学校すべてが実施しています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
	今後の方向性	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。	<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない				
	当面の課題	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
	課題解決のための改善計画	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。	<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している				
	一次評価					二次評価				
評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B
今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
当面の課題	中学校すべて民間委託していますが、施設間で設備の老朽度の状況が異なります。当面は、自校調理方式のメリットを生かし継続しますが、将来的にはセンター化を研究します。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
課題解決のための改善計画	市内をブロック別にし、将来的にはセンター化を模索します。					25年度からは全ての施設で給食調理業務を民間委託しております。将来的には、学校厨房施設の陳腐化も懸念されることから、中学校区単位の学校給食センターの整備を検討します。その際、経費の節減やリスクの軽減に努める必要があります。ただし、自校調理方式のメリットも考慮して判断する必要があります。				
備考										